

BUNJI-SSH NEWS

Q-3 BUN-petency を育むために、具体的にどのようなことをすればよいのか？

「BUN-petency を全校体制で育もう！」と言われても、具体的に何をすればよいのかわかりにくいと思います。本校のSSHは“体験・経験”を重視してします。そこで、BUN-petency の育成や伸長につながるための体験・経験の場を設定する働きかけを「学びのアクション」と称してリスト化してみました。

BUN-petency	学びのアクション	説明
Broad perspective【越境】	① 見方を変える	同じ事象を別の立場・条件・視点から捉える
	② 比べて考える	異なる考え・資料・結果を並べて検討する
	③ 問い直す	当たり前だと思っていた前提や結論を疑う
	④ 振り返る	自分の考え方・進め方を振り返る
	⑤ 書き直す	振り返りをもとに考え・成果物を修正する
Understanding【洞察】	⑥ 使って解く	既習の知識・技能を使って課題に取り組む
	⑦ 選んで使う	複数の知識・方法の中から適切なものを選ぶ
	⑧ 試して確かめる	実験・演習・試行を通して理解を深める
	⑨ 集めて整理する	データ・資料・情報を収集し整理する
	⑩ 経験と結び付ける	自分の体験や実感と学習内容を結びつける
Narrative ability【伝達】	⑪ まとめる	学習内容や考察を整理する
	⑫ 図や表で示す	情報を視覚的に表現する
	⑬ 書いて伝える	文章で考えや成果を伝える
	⑭ 話して伝える	口頭や発表で考えを伝える
	⑮ 根拠を示す	データ・資料・本文などを使って説明する
Judgment【判断】	⑯ 比較して選ぶ	複数の選択肢や情報を比べて判断する
	⑰ 理由を書く	判断の根拠や理由を言語化する
	⑱ 妥当性を確かめる	結論や考えの確かさを検討する
	⑲ ルールを守る	引用・著作権・安全などを意識して行動する
	⑳ 影響を考える	他者・社会・将来への影響を考慮する
Integration【統合】	㉑ つなげて考える	異なる知識・経験・視点を関連づける
	㉒ 関係を整理する	共通点・相違点・因果関係を整理する
	㉓ 組み合わせる	複数の考え・方法・情報を組み合わせる
	㉔ 提案する	よりよい解決策・改善案を示す
	㉕ 新しい見方を出す	新たな視点・解釈・価値を生み出す

見ていただくとわかるように、おそらく先生方の授業やその他指導に日常的に取り入れられている活動がほとんどではないでしょうか。リストにすることで、御自身で取り入れやすいアクション（＝伸長しやすいBUN-petency）、逆に見落としがちなアクションなどが可視化されます。授業で言えば、それぞれの教科・科目の特色を生かしながら、「学びのアクション」を意識して取り入れ、BUN-petency 育成につなげていただくと嬉しいです！さあ、先生方で授業の中に「学びのアクション」を積極的に取り込んでいきましょう。

次号では、SSHの開発項目の一つでもある教科間連携についてお伝えします。